



学校教育目標

自分・友だち・まちがすき

自ら学び 未来へとかがやく名瀬っ子

# 名瀬小だより

## 2月号

令和元年 1月31日

横浜市立名瀬小学校

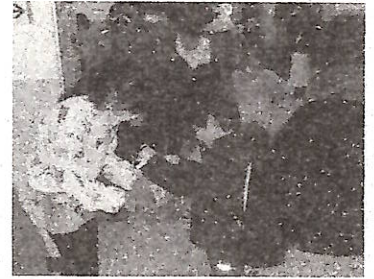
校長 中嶋 孝宏

### 感謝の気持ち

副校長 芦垣 康志

年が改まり早くも一か月が過ぎました。暦の上では春の始まりとされる「立春」を迎えますが、実際はまだインフルエンザが流行する寒い日が続きます。うがい、手洗い等の予防に取り組むとともに規則正しい生活を心がけて過ごせるよう子どもたちに声掛けをしていきます。これから2月、3月の学年末を迎えます。この一年間で成長したこと、学級の友だちと学び合いながらお互いを認め合う温かな学級づくりに取り組んできたこと等、自分の成長を実感することは次の学年の意欲につながります。この学年末の時期に学級や学年で今年度の成長について話題にしていきます。

先日、名瀬小では児童運営委員会を中心にユニセフの募金活動が行われました。募金をしてくれる友だちに委員会の人たちはニコニコと笑顔で「ありがとうございます。」と声をかけていました。「ありがとう。」の言葉が自然に出る名瀬の子はとて素晴らしいと感じました。また、調理員さんへの感謝の気持ちを表す給食週間がありました。寄せ書きには「ありがとう。」「毎日おいしい給食で笑顔になれます。」等の感謝の思いがたくさん書かれて



【募金活動の様子】

ていました。調理員さんは寄せ書きによって一段と心が温かくなったのではないかと思います。感謝の気持ちを伝える「ありがとう。」という一言によって言われた相手は役に立ててよかったと感じることができます。「ありがとう。」は人と人をつなぐすてきな言葉だと思います。

2月には名瀬小の子どもたちの登下校を温かく見守っていただいた学援隊の方々への感謝の会が予定されています。また、名瀬小のリーダーとして下級生の模範となって活動してきた6年生に対して1年生から5年生が協力して「6年生を送る会」を行います。さらに6年生は成長の喜びと感謝を伝える「卒業を祝う会」が3月に予定されています。たくさんの「ありがとう。」であふれた温かい雰囲気の中で6年生の卒業の日を迎えることができるよう職員一同歩みを進めていきます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。